



1 かわいい瓦地藏
2 土山太子堂
3 土山瓦。左が鯉の瓦、上が九曜紋瓦

探検スポット
B 瓦地藏

小池土山周辺で生産されていた「土山瓦」。
この土地の周辺で採れる良質な粘土と、飯田山の松などを燃料として作られたこの瓦は、その質の高さから熊本城の瓦として採用されたり、肥後国(昔の熊本)を治めていた細川藩の「御用瓦」として採用されたりしていました。
同じ土山にある第五番札

所「土山太子堂」。聖徳太子(厩戸王)が祭られたこのお堂には、日本でも非常に珍しい、頭が瓦で作られたお地藏さんがいます。
昔、「廃仏毀釈」という運動が起こり、あちこちの地藏や仏像が壊されてしまいました。頭が無くなったお地藏さんをかわいそうに思った瓦師が、瓦と同じ材料で修復したそうです。



探検スポット
A 浄信寺

お堂に入って天井を見上げると一面に広がる絵...！
田原にある「浄信寺」は少なくとも500年以上前に建てられた歴史のあるお寺です。約250枚の天井絵には、12体の干支の動物や、当時の人々の暮らしの中にあつた動植物が生き生きと描かれています。
お寺は、今の子どもたちにはあまりなじみがないかもしれませんが、しかし昔は、

子どもたちに勉強を教える「学校」や、身分証明書などを発行する「役所」、地域の人たちが集まる「サロン」など、さまざまな役割を持つ、その地域の人々にとって、最も身近でとても大事な場所でした。
境内には四季折々の花々が咲く「浄信寺」。今も住民の憩いの場としてたたくま、まるでゆっくりと時間が流れているようでした。



町役場から南に進むと見えてくる「木山横町通り」。
ここは、商業の流通拠点として栄えた場所です。木山神宮の横参道として発展し、昔は約40ものお店が軒を連ねていました。3月に開催される「木山初市」では出店が並び、名物「市だご」に長蛇の列ができます。
歴史が詰まった街並みは、ぶらり探訪に最適です。

1 町を代表する神社の一つ、木山神宮 2 矢嶋家4姉妹の誕生碑 3 蛙子町の由来とされる「えびすさん」。語源は「異国」、「異国人」とも言われる。外国人がいっぱいた？

もっと探検を続けてみよう！



探検スポット
C 木山横町通り



いろいろなことを教えてくれたおだこうどう 小田孝道 住職



お堂の裏にはクジャクが！ 鳴き声は「ニャー」。



1 天井に広がる色とりどりの絵 2 何度も修復された阿弥陀如来像 3 ふすまや欄間には、きらびやかな鳳凰が施されている 4 お寺に続く参道には48本の灯籠が並び 5 年末には除夜の鐘が鳴る